

予 算 要 求 資 料

令和8年度当初予算

支出科目 款：衛生費 項：医務費 目：医務費

事業名 初期臨床研修医等確保対策事業費 (地域医療介護総合確保基金)

(この事業に対するご質問・ご意見はこちらにお寄せください)

健康福祉部 医療福祉連携推進課 医療人材確保係 電話番号：058-272-1111(内3278)

E-mail : c11230@pref.gifu.lg.jp

1 事 業 費 10,272 千円 (前年度予算額： 10,298 千円)

<財源内訳>

区分	事業費	財 源 内 訳						
		国 庫 支出金	分担金 負担金	使用料 手数料	財 産 収 入	寄附金	その他	県 債
前年度	10,298	0	0	0	0	0	10,298	0
要求額	10,272	0	0	0	0	0	10,272	0
決定額								

2 要 求 内 容

(1) 要求の趣旨（現状と課題）

県内の医師数は全国平均数を大きく下回っており、医師不足は深刻な状態となっている。

人口10万人あたり医療施設従事医師数	全国平均 262.1人
//	岐阜県 231.5人

この状況を改善するためには、県内のみならず県外からも臨床研修医を多く確保し、初期臨床研修の段階から県内病院への就業を促進し、県内医師数の確保及び定着を図る必要がある。

(2) 事業内容

- ア 臨床研修医確保の方策の検討、募集定員の調整等を行う臨床研修病院協議会の開催及び県内臨床研修プログラムをPRするための冊子の作成
- イ 県内臨床研修病院合同説明会の開催
- ウ 民間主催の臨床研修病院合同説明会への参加を希望する病院を支援
- エ 医師確保サイトへの掲載（広告）、岐阜県に就業を希望する医学生等に対する就業啓発

(3) 県負担・補助率の考え方

事業費全額について地域医療介護総合確保基金を充当

(4) 類似事業の有無

専攻医等確保対策事業があるが、専攻医を確保するための事業であり、本事業とは異なる。

3 事業費の積算 内訳

事業内容	金額	事業内容の詳細
旅費	28	修学資金受給医師等との面談旅費、出展旅費
需用費	274	消耗品費
役務費	135	県内就業を希望する医学生に対する就業啓発（郵送代、電話代）
委託料	9,835	合同説明会（全国・県）出展、協議会運営、求人サイトへの広告
合計	10,272	

決定額の考え方

4 参考事項

(1) 各種計画での位置づけ

岐阜県保健医療計画（第8期）

(2) 国・他県の状況

他県でも同様に全国説明会への参加や県内説明会の開催、各種広報媒体の活用及び臨床研修病院協議会の開催を実施している。

事 業 評 価 調 書 (県単独補助金除く)

新規要求事業

継続要求事業

1 事業の目標と成果

(事業目標)

- ・何をいつまでにどのような状態にしたいのか

県内で臨床研修をする医師を増やすことで、地域医療に従事する医師を増やし、どの地域にあっても、誰もが安心なく医療が受けられる体制を整える。

(目標の達成度を示す指標と実績)

指標名	事業開始前 (H21)	R6年度 実績	R7年度 目標	R8年度 目標	終期目標 (R9)	達成率
臨床研修医採用 数（1年次）	90人	157人	160人	160人	160人	99%

○指標を設定することができない場合の理由

(これまでの取組内容と成果)

令和 4 年 度	<ul style="list-style-type: none"> ○臨床研修病院協議会の運営 ○県内臨床研修病院についての情報を掲載するパンフレットを作成 ○民間の医学生等向けWEBサイトで県内の医療情報等の掲載 ○レジナビFairオンライン岐阜県2022を開催 ○大阪での全国規模の臨床研修病院合同説明会への出展
	指標① 目標：146人 実績：141人 達成率： 96 %
令和 5 年 度	<ul style="list-style-type: none"> ○臨床研修病院協議会の運営 ○県内臨床研修病院についての情報を掲載するパンフレットを作成 ○民間の医学生等向けWEBサイトで県内の医療情報等の掲載 ○岐阜県臨床研修病院合同説明会を開催。 ○大阪での全国規模の臨床研修病院合同説明会への出展
	指標① 目標：146人 実績：154人 達成率： 100 %
令和 6 年 度	<ul style="list-style-type: none"> ○臨床研修病院協議会の運営 ○県内臨床研修病院についての情報を掲載するパンフレットを作成 ○民間の医学生等向けWEBサイトで県内の医療情報等の掲載 ○岐阜県臨床研修病院合同説明会を開催 ○名古屋での全国規模の臨床研修病院合同説明会への出展
	指標① 目標：160人 実績：157人 達成率： 99 %

2 事業の評価と課題

(事業の評価)

・事業の必要性(社会情勢等を踏まえ、前年度などに比べ判断)

3：増加している 2：横ばい 1：減少している 0：ほとんどない

(評価) 2	臨床研修医の確保が県内の医師不足解消につながるため、必要性が高い。
・事業の有効性(指標等の状況から見て事業の成果はあがっているか)	
3：期待以上の成果あり 2：期待どおりの成果あり 1：期待どおりの成果が得られていない 0：ほとんど成果が得られていない	
(評価) 2	臨床研修医数が徐々に増えており、事業効果が表れている。また、一定数のWEBサイトへのアクセス数がある。
・事業の効率性(事業の実施方法の効率化は図られているか)	
2：上がっている 1：横ばい 0：下がっている	
(評価) 1	例年開催している合同説明会では県内全ての臨床研修病院（21病院）が出展し効果的なPRが展開できている。 WEBサイトの管理会社は全国の合同説明会を主催しており、これらの情報と連動させ閲覧できる仕組みとなっている。

(今後の課題)

・事業が直面する課題や改善が必要な事項

臨床研修医においては、当事業や修学資金貸付けの効果により国が定めた募集定員の上限を超える可能性がある。

(次年度の方向性)

・継続すべき事業か。県民ニーズ、事業の評価、今後の課題を踏まえて、今後どのように取り組むのか

広報は、インターネットやバナー広告等、積極的な広報を行っていく。
臨床研修医の募集定員については、国に対して上限数の見直しを引き続き要請する。

(他事業と組み合わせて実施する場合の事業効果)

組み合わせ予定のイベント 又は事業名及び所管課	
組み合わせて実施する理由 や期待する効果 など	